

別紙 8

【薬効分類】 396 糖尿病用剤

【医薬品名】 テネリグリプチン臭化水素酸塩水和物・カナグリフロジン水和物

【措置内容】 以下のように使用上の注意を改めること。

【「医療用医薬品添付文書の記載要領について」(平成9年4月25日付け薬発第606号局長通知)に基づく改訂(旧記載要領)】

下線は変更箇所

現行	改訂案
<p>重要な基本的注意</p> <p>本剤の有効成分であるカナグリフロジンの投与により、尿路感染を起こし、腎盂腎炎、敗血症等の重篤な感染症に至ることがある。<u>また、膣カンジダ症等の性器感染を起こすことがある。</u></p> <p>十分な観察を行うなど尿路感染及び性器感染の発症に注意し、発症した場合には適切な処置を行うとともに、状態に応じて休薬等を考慮すること。尿路感染及び性器感染の症状及びその対処方法について患者に説明すること。</p>	<p>重要な基本的注意</p> <p>本剤の有効成分であるカナグリフロジンの投与により、尿路感染及び性器感染を起こし、腎盂腎炎、<u>外陰部及び会陰部の壊死性筋膜炎(フルニエ壊疽)</u>、敗血症等の重篤な感染症に至ることがある。十分な観察を行うなど尿路感染及び性器感染の発症に注意し、発症した場合には適切な処置を行うとともに、状態に応じて休薬等を考慮すること。尿路感染及び性器感染の症状及びその対処方法について患者に説明すること。</p>
<p>副作用</p> <p>重大な副作用</p> <p>腎盂腎炎、敗血症： 腎盂腎炎があらわれ、敗血症（敗血症性ショックを含む）に至ることがあるので、観察を十分に行い、異常が認められた場合は投与を中止するなど適切な処置を行うこと。</p>	<p>副作用</p> <p>重大な副作用</p> <p>腎盂腎炎、<u>外陰部及び会陰部の壊死性筋膜炎(フルニエ壊疽)</u>、敗血症： <u>腎盂腎炎、外陰部及び会陰部の壊死性筋膜炎(フルニエ壊疽)</u>があらわれ、敗血症（敗血症性ショックを含む）に至ることが</p>

	あるので、観察を十分に行い、異常が認められた場合は投与を中止するなど適切な処置を行うこと。
--	---

【「医療用医薬品の添付文書等の記載要領について」（平成 29 年 6 月 8 日付け薬生発 0608 第 1 号局長通知）に基づく改訂（新記載要領）】

下線は変更箇所

現行	改訂案
<p>8. 重要な基本的注意</p> <p>本剤の有効成分であるカナグリフロジンの投与により、尿路感染を起こし、腎盂腎炎、敗血症等の重篤な感染症に至ることがある。<u>また、膣カンジダ症等の性器感染を起こすことがある。</u></p> <p>十分な観察を行うなど尿路感染及び性器感染の発症に注意し、発症した場合には適切な処置を行うとともに、状態に応じて休薬等を考慮すること。尿路感染及び性器感染の症状及びその対処方法について患者に説明すること。</p>	<p>8. 重要な基本的注意</p> <p>本剤の有効成分であるカナグリフロジンの投与により、尿路感染及び性器感染を起こし、腎盂腎炎、<u>外陰部及び会陰部の壊死性筋膜炎（フルニエ壊疽）、</u>敗血症等の重篤な感染症に至ることがある。十分な観察を行うなど尿路感染及び性器感染の発症に注意し、発症した場合には適切な処置を行うとともに、状態に応じて休薬等を考慮すること。尿路感染及び性器感染の症状及びその対処方法について患者に説明すること。</p>
<p>11. 副作用</p> <p>11.1 重大な副作用</p> <p>腎盂腎炎、敗血症</p> <p>腎盂腎炎があらわれ、敗血症（敗血症性ショックを含む）に至ることがある。</p>	<p>11. 副作用</p> <p>11.1 重大な副作用</p> <p>腎盂腎炎、<u>外陰部及び会陰部の壊死性筋膜炎（フルニエ壊疽）、</u>敗血症</p> <p>腎盂腎炎、<u>外陰部及び会陰部の壊死性筋膜炎（フルニエ壊疽）</u>があらわれ、敗血症（敗血症性ショックを含む）に至ることがある。</p>